

教育研究業績書

所 属	職 名	氏 名	学 位
短期大学部総合生活学科	助教	佐草 智久	学士
I 教育活動			
教育実践上の主な業績	年 月 日	概 要	
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) 視聴覚教材を用いた授業展開	2019年4月～現在	各授業において適宜視聴覚教材を利用することで、学生がより福祉現場や社会問題が多角的に理解できるよう、努めている。	
介護現場での経験談を通じた、社会福祉制度の理解の促進	2019年4月～現在	主に介護保険や障害者総合支援法などの各制度を説明する際に、自身の訪問介護員としての現場経験を取り上げることで、制度がどのように実際の現場レベルで運用されているかを詳説し、学生がよりリアリティを持ってそれらの制度が理解できるよう、努めている。	
学生からの質問へのフィードバックを通じた、双方向授業	2019年4月～現在	各回の授業の出席表にコメントを記入させることで、学生の理解度を把握することで、学生が満足する授業展開を目指している。また同時に、授業内で触れられなかった学生質問を、次回の冒頭で詳説し、学生の疑問点を解消することに努めている。	
(2)作成した教科書・教材・参考書 『知と実践のブリコラージュ——生存をめぐる研究の現場』, 晃洋書房 監修:立命館大学生存学研究所 編者:渡辺克典・櫻井悟史	2020年3月	担当部分:P.16-P.17 (第1部4章 日本の介護保障のあゆみをとらえなおす—ローカルな歴史への探求)	
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等			
(4)その他教育活動上特記すべき事項 ホームヘルパー2級	40274	現、介護職員初任者研修(登録番号1267129240404)	
社会福祉士国家資格	42824	登録番号:第0205276号	
社会福祉士・精神保健福祉士実習演習担当 教員講習会(社会福祉士実習分野講習)修了	42957	受講番号:2017-071	
社会福祉士・精神保健福祉士実習演習担当 教員講習会(社会福祉士演習分野講習)修了	42986	受講番号:2017-071	

II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻、号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					
『知と実践のブリコラージュ——生存をめぐる研究の現場』, 晃洋書房 監修: 立命館大学生存学研究所 担当部分:P.16-P.17 (第1部4章 日本の介護保障のあゆみをとらえなおす—ローカルな歴史への探求)	共著	2020年3月	晃洋書房	編者: 渡辺克典・櫻井悟史	2
(論文)					
「米軍統治下沖縄メイド研究——職業の実態と社会的役割を中心に」(査読付)	単著	2020年10月(掲載決定済)	日本オーラルストリー学会, 『日本オーラルストリー研究』16号		
「日本の訪問介護の歴史——京都市を中心に」(博士予備論文)	単著	2015年1月			
「老人福祉法制定前後の在宅高齢者福祉政策に関する再検討——1950～1960年代前半の京都市を事例に」(査読付)	単著	2015年3月	立命館大学先端総合学術研究科, 『Core Ethics』第11号.		95-105
「戦後日本のホームヘルプにおける公的部門の歴史的位相」(査読有)	単著	2015年8月	『日韓次世代学術フォーラム第12回国際学術大会予稿集』(日韓次世代学術フォーラム).		185-188
「家庭奉仕員制度の歴史における『間隙』——1970年代の社会的位相に着目して」(査読付)	単著	2016年7月	立命館大学人間科学研究科, 『立命館人間科学研究』第34号.		19-33
「日本のホームヘルプにおける家庭奉仕員制度と家政婦制度の関係——両者の担い手の実態の動向と対象領域の変化を中心に」(査読付)	単著	2017年6月	日本社会福祉学会, 『社会福祉学』第58巻第1号.		1-12

「後発地域の家庭奉仕員派遣事業の展開に関する検討——北海道札幌市を事例に」(査読付)	単著	2019年3月	立命館大学生存学研究センター、『立命館生存学研究』2号.		183-193
(その他)					
「在宅福祉政策の萌芽期に関する一研究——京都市遺族派遣婦事業から」(単独・口頭発表)		2014年6月	福祉社会学会第12回大会, 東洋大学白山キャンパス		
「日本における精神障害を対象としたホームヘルプ制度の歴史」(桐原尚之との共同研究)(共同・ポスター発表)		2014年11月	福祉社会学会第12回大会, 東洋大学白山キャンパス		
「国庫補助事業化前後の在宅高齢者福祉政策に関する考察——京都市を事例に」(単独。口頭発表)		2015年6月	福祉社会学会第13回大会, 名古屋大学東山キャンパス		
「戦後日本のホームヘルプにおける公的部門の歴史的位相」(単独口頭発表)		2015年8月	第12回日韓次世代学術フォーラム国際学術大会, 高麗大学校(大韓民国ソウル特別市)		
「1970~80年代の家庭奉仕員制度に関する再検討——当時の社会背景に着目して」(単独・口頭発表)		2015年9月	第63回日本社会福祉学会秋期学会, 久留米大学御井キャンパス		
「後発地域の家庭奉仕員制度の展開に関する検討——北海道札幌市を事例に」(単独・口頭発表)		2017年11月	第65回日本社会福祉学会秋期大会, 首都大学東京南大沢キャンパス		
「本土復帰前沖縄の高齢者福祉政策——家庭奉仕員制度を中心に」(単独・口頭発表)		2018年6月	第90回日本社会学会大会, 東京大学本郷キャンパス		
「ホームヘルプにおける看護婦家政婦紹介所の歴史的展開——家庭奉仕員・ホームヘルパーとの関係から」(単独・口頭発表)		2018年6月	第16回福祉社会学会大会, 中京大学豊田キャンパス		

「米軍統治下沖縄の メイドたち—家事 労働者と軍労働者の 狭間で」(単独・口 頭発表)		2018年9月	第91回日本社会学会, 甲南大学岡本キャン パス		
「日本における在宅 の『身の回りの世 話』労働職の歴史的 展開—社会福祉 サービスと有料職業 紹介事業を中心に」 (単独・口頭発表・ 依頼発表)		2018年12月	第110回SPSN(社会政 策研究ネットワーク)研 究会, 津田塾大学千 駄ヶ谷キャンパス		
Ⅲ 学会等及び社会における主な活動					